

報道関係者各位
(参考資料)

2012年8月21日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、インターネットの最新の技術動向・セキュリティ情報のレポート

「Internet Infrastructure Review」Vol.16 を発行

-- DDoS 攻撃への 1 日あたりの対処件数が前回に比べて倍増 --

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)は、インターネットの基盤技術に関する最新の技術動向や、セキュリティ情報を紹介する技術レポート「Internet Infrastructure Review (IIR)」の Vol.16 を本日発行いたしました。

今号では、2012年4月から6月までの3ヵ月間を対象として、セキュリティインシデントや迷惑メールなどの観測情報をまとめ、IIJ が取り扱ったインシデントと対応について紹介しています。また、ブロードバンドトラフィックの解析結果について解説しています。今号のトピックは以下のとおりです。

- **Anonymous** などによる攻撃活動は継続。多数の国の企業や政府関連サイトに対する DDoS 攻撃や情報漏えい事件が発生
 - DDoS 攻撃への 1 日あたりの対処件数は 8.8 件で、前回に比べて倍増
 - **Anonymous** が国内サイトを攻撃。海外の **Anonymous** も日本国内の動きに興味をもっており、何かきっかけさえあれば、攻撃作戦に発展する可能性が示された。
 - **Windows Update** への中間者攻撃を行うマルウェア **Flame** が出現。デジタル署名を偽造して **Microsoft** 社が署名をしているように見せかける仕組み

- 迷惑メールの割合は、前回から 2.5%減少。一方、フィッシングによる被害は増加
 - 迷惑メールの送信元は、前回同様に中国が 1 位。日本は再び 2 位に戻る。
 - **SPF** の普及率は約 66.2%で、増加
 - 送信ドメイン認証技術「**SPF**」「**DKIM**」および「**DMARC**」で認証する識別子について解説。今後の課題についても触れる。

- この 1 年間でのブロードバンドトラフィックには大きな変化はなく、安定傾向
 - 10 月 1 日から施行される改正著作権法により、ブロードバンドトラフィックにどのような変化が出るのか注目される。

以下のサイトで IIR の全文をご覧いただけます。

<http://www.ij.ad.jp/company/development/report/iir/index.html>

【IIR について】

「Internet Infrastructure Review」は、インターネットが抱える技術的課題についての認識を、関連する多くの機関やお客様と共有することで、インターネットが安心、安全な社会基盤として発展する一助となることを目指し、2008年10月より季刊で年4回発行している技術レポートです。IJJがインシデント観測の仕組みで収集した各種攻撃の傾向と対策に関する情報や、インターネットバックボーンの運用を通して蓄積した技術的知見を掲載しています。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 村松、増田

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ijj.ad.jp URL: <http://www.ijj.ad.jp/>